

受託研究A ヴィエトナムの障害児教育分野における専門教員養成コース支援事業

(研究代表者：産業社会学部教授 荒木 穂積)

当プロジェクトの目的は、ハノイ師範大学をカウンターパートとし、障害児教育分野における専門教員養成への支援を行い、黎明期にあるヴィエトナム障害児教育の立ち上げ期の支援を行なうものである。ヴィエトナム政府は2010年までに障害児の就学率を70%に引き上げたいと国際的に表明しており、専門教員と専門教員養成を担う教員の育成が急務となっている。このプログラムは南部の現職教員の再教育を目標にホーチミン市で開始した。ヴィエトナムの現職教員および障害児教育専攻学生を対象とし、プログラム修了者にはハノイ師範大学から障害児教育分野専門教員養成課程認定の学士号を授与するもので今後の専門教員養成の核となるスタッフの養成をめざした。

本学の中心的な支援業務の内容は、障害児教育分野の専門教員養成のための講師陣の派遣。講義録および参考テキストの編集・作成。講義用の授業教材の開発。ヴィエトナムで利用できる障害児分野の教材・教具開発である。

日本とヴィエトナムで使用する機資材の整備、講師の派遣体制と受け入れ体制の整備、教材・教具・補助資料集の開発、テキストの作成を進めるとともに、当初講師派遣は12名を予定していたが、知的障害児教育実践現場への日本人講師陣の投入強化が必要となり、16名余に増派することとした。

授業計画はほぼ順調に進捗しており、受講生は既に卒業論文のテーマも決定し、12月には卒業論文テーマの中間発表も実施した。

これらの取り組みを通じ、ハノイ師範大学、ホーチミン師範大学をはじめとした大学・研究者や文部訓練省など政府機関とも信頼関係を深めつつさまざまな研究・教育課題における交流を進めることができた。今後多様な学生・研究者交流を含めて現地の期待の高まりも実感した。

なお、策定したカリキュラム自体は2004年夏に至るものであるが、当受託研究の年限は今年度末までとなっているため、プロジェクトの完遂までの体制とファンドについての取り組みを並行させている。

種別1	種別2	研究会名	開催日	テーマ	報告者
受託研究	J-1	ベトナムにおける障害児専門教員養成プログラム支援事業	10/2	公開講演会(子どもプロジェクトと共同) ベトナムにおける障害児教育の現状 ベトナムの大学と学生生活	(国立ハノイ師範大学) グエン・チ・ホアン・イエン (国立ハノイ師範大学) ディン・クアン・バオ